

社団法人
大阪府
作業療法士会ニュース

巻頭言

第27回大阪府作業療法学会を終えて

学会長 嶋谷 和之
(大阪市更生療育センター)

4週連続週末は雨続きでしたが、久しぶりに晴れた11月13日(日)に、クレオ大阪南(大阪市立男女共同参画センター 南部館)にて第27回大阪府作業療法学会を「生活を支えるネットワーク ～みんなの輪で、誰もが暮らしやすい地域づくり～」のテーマで開催しました。おかげさまで合計206名の方にご参加を頂き無事に終えることができました。ありがとうございました。

たくさん的一般演題・ポスター演題・自主企画のご応募や指定演題のご協力を頂きまして、特別講演(府民公開講座)・指定演題3題・一般演題28題・ポスター演題4題・自主企画ワークショップ1題と、非常に盛りだくさんな学会プログラムとなりました。一般演題・ポスター演題は幅広い領域からの発表で、作業療法の領域の広さを改めて実感するとともに、他の領域の発表を聞くことで新たな発想を得ることができました。地域・連携をキーワードにした指定演題では、具体的なご発表やその後の議論を通して様々な視点を頂き、日々の臨床や今後の活動展開を考えるよい機会となりました。会場のクレオ大阪南を全館借りたものの、セッションによっては会場が狭く、立って聴講される状況となりご不便をおかけいたしました。会場を回ってみますとあちらこちらで、熱心に質問をされていたり議論が交わされている様子が見受けられ、参加された方々にとって実りある学会になったのではないかと思います。

府民公開講座を兼ねた特別講演は、「地域で働き・暮らすための支援とネットワーク ―就業支援を軸に―」のテーマ

で大阪市職業リハビリテーションセンター所長の乾伊津子氏にご講演をいただきました。会員の皆様にはチラシ配布のご協力を頂き、府民の方にもご参加いただくことができました。講演では就業支援の実際にも触れていただきながら、地域の方々と協業し生活を支えるネットワークを構築していく、またはより推進していくためのヒントをたくさんお話しいただきました。また、熱く語られる乾所長からエネルギーを頂いたように感じました。印象に残ったお言葉のうち、「ないものは創り出す」「情報を発信するところに情報が集まり、ネットワークができる」ということが強く心に残りました。作業療法士の得意なところを活かして、年齢を問わず子どもから大人まで誰もがより元気で暮らしやすい地域・街になるように、情報を発信し、創り出していきたいと思いました。

学会開催に際し、多くの方に多大なお力添えを頂きました。そして学会企画・準備・運営を通してつながることができました。作業療法士同士のつながりがあって、地域に貢献できると思いますので、この輪を大切に地域づくり・街づくりに貢献したいと感じました。お力添えを頂きました皆様にこの場をお借りしまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成23年度から、会費納入方法が
「自動振替」に移行しています。

自動振替の手続きを完了いただきますよう、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

(詳細は、ホームページ <http://osaka-ot.jp/beginner/admission.html>をご確認ください)

自動振替が難しい方へ

- ゆうちょ銀行…郵便振替口座番号：00960-7-263005
加入者名：社団法人 大阪府作業療法士会
- 他の銀行(一部を除く)やコンビニATM…
店名：〇九九店(ゼロキューキュー店)
預金種目：当座 口座番号：0263005
受取人名：シヤダンホウジン オオサカフサギヨリウホウシカイ